

# 平成26年度

# 教育行政執行方針

平成二十六年第一回定例会の開会にあたり、教育委員会が所管する行政の執行について、その方針を申し上げます。

教育の質の向上を目指す教育再生は、経済再生と並ぶ国の最重要課題であります。道徳の教科化、土曜授業の導入、教育委員会制度の在り方等、非常に速いスピードで動き出します。

教育委員会といたましても、これららの教育改革につきましては、慎重に検討を重ねつつも、未来を担う子どもたちに「生きる力」を育む、よりよい教育行政を推進してまいります。また、町民が生涯にわたって芸術・文化・スポーツ活動を楽しむことのできる「生涯学習社会」の構築にも努めてまいります。

次に、「第五次京極町総合計画」に掲げる基本目標「個性を育み、絆を深めるまちづくり」に基づき、学校教育並びに生涯学習の各項目における主な施策について申し上げます。

■信頼される学校づくり

学校は、校長のリーダーシップの下、全教職員がひとつになつて取り組むチーム意識を高め、組織的・継続的な教育力、つまり「学校力」を最大限に發揮することが求められております。

このような中、教育委員会としましても、学校組織の活性化を助長すると共に、校内研修等による授業力の向上、また、体罰や不適切な指導の根絶、法令遵守等について、教職員一人一人の職能成長を支援してまいります。

日々の教育活動を充実させていく為には、教職員自らが、先進校の研究発表会や各種研修機関が開催する研修会等に率先して参加し、優れた教育実践を学び、活かす姿勢が必要であることから、京極町の学校課題に応じて情報提供を行い、積極的な参加を呼びかけてまいります。

一月廿四日

として、きめ細かな指導に活用してまいります。

また、子どもたちに「確かな学力」を育むためには、学校と家庭が両輪となつて連携し、義務教育九年間の一貫した取組を継続・徹底させることが重要であります。そのためにも「わかる授業」づくりと「家庭学習の習慣化」を図つてまいります。

「わかる授業」づくりとは、子どもたちが安心して気持ちよく学ぶ場の上に成り立ちます。その為にも、集団で学ぶ為のルールやマナーとなる「学習規律」が必要となることから

町内の小中学校で共通・一貫して指導する「学習規律」を定め、すべての授業において、徹底・継続して取り組んでまいります。

学校で習つたことを確実に定着させるためには、家庭学習を習慣化することが非常に大切であります。既に各校におきましては、「家庭学習の手引」を作成し、家庭への協力を呼びかけておりますが、十分に習慣化されている状況にあるとはいません。教育委員会としましても、京極町全体で取り組む「家庭学習の手引」を保護者へ配布すると共に、様々な場において家庭への呼びかけを行つてまいります。

## 学校教育の推進について

また、昨年度に引き続き、専門的な知識及び経験を有するスクールカウンセラーを学校へ派遣し、児童生徒または保護者との教育相談を通して、いじめや不登校の未然防止等に努めてまいります。

## ■健康づくりと安全の確保



子どもの健康づくりの推進につき

が大前提ではありますが、より客観的に把握することの必要性から、本年度も昨年度に引き続き、児童生徒の意欲や満足感等を測定する「ハイパーＱＵ」を実施し、よりよい学級経営を目指してまいります。

読書活動は、知識を広め心を豊かにする等、人生をよりよく生きるために欠かせないものであります。学校での継続的な「朝の読書」と、家庭での読書の習慣化が図られるよう、家庭学習の習慣化と合わせて、呼びかけてまいります。

## ■確かな学力を育む教育の充実

北海道教育委員会では「平成二十六年度の全国調査までに全道の平均正答率を全国平均以上にする」を目指しております。本町の児童生徒の学力の状況は、確実に向上している部分が見られるものの、算数・数学の基礎・基本の定着には課題が見られる状況にあります。このことからも日々の授業改善はもちろんのこと、特別な支援が必要な児童生徒への配慮、家庭学習の推進、長期休業中の補充的な学習など、工夫した取組を進めると共に、全国調査の結

教諭を活用した計画的な食育指導を実施し、学校給食における意義の理解や望ましい食習慣の形成を目指してまいります。また、運動、休養や睡眠等につきましても、望ましい生活习惯の在り方を家庭へ示してまいります。

平成二十二年度より実施しておりますフッ化物洗口につきましては、子どもたちの歯と口腔を守る一方として、今後も継続してまいります。

安全に関する指導につきましては、自然災害に対する安全、交通安全、防犯を含む生活安全を取り上げて、児童生徒の発達段階を踏まえつつ、「危険予測・回避能力」を身に付ける為の取組を行つてまいります。具体的には、災害や防犯に対する避難訓練や交通安全教室を各校で実施してまいります。

学校の危機管理につきましては、自然災害や事件・事故の危機から子どもたちの安全・安心を確保するとともに、地域の応急避難場所としての役割を学校が果たしていく為、町の防災計画と連動した防災教育の実や各学校の実態に合わせた危機管理マニュアルの点検を行つてまいります。また、通学路の定期的な点検・健全育成会との連携による巡回パトロール、危険箇所マップの作成も継続してまいります。

A black and white photograph of a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a dark suit, white shirt, and a diagonally striped tie. He is standing behind a light-colored wooden podium. A microphone is mounted on the podium, and the brand name "PHILIPS" is visible on its base. He appears to be speaking or presenting, as his mouth is slightly open and he is looking towards the camera.